

語り部ニュース

発行
NPO法人舞鶴・引揚
語りの会
住所〒625-0133
舞鶴市字平
舞鶴引揚記念館内
TEL0733-68-0568

長崎市の平和の紙芝居

作品展にて松岡さんの

『さっちゃん満州』

表彰されます。

昨年、長崎から伝える平和の紙芝居コンクールが実施され長崎市における原爆・平和をテーマとした紙芝居を通して、子どもたちへ分かりやすく平和の尊さ、戦争の悲惨さを伝え、被爆地・長崎から平和の願いを発信するための作品展に樟さんの作品と松岡さんの作品の二点を提出いたしました。長崎市は原爆被災都市なので原爆を対象とした作品が重視されるものと思っており、私たちの作品は単に少しでも多くの方々目に触れて頂くことを期待した思いの応募でした。

思いがけず昨年十二月二四日長崎市より

平和の紙芝居コンクール審査結果
(一般の部 優秀賞)
の通知を受けました
表彰式は二月七日
(日)です。松岡談
表彰された作品は

大戦後 男立マッ
ツ成 21 年 12 月 30 日

監製・原稿担当 松岡
松岡 中流 研

監修・監 西七 寅久
(共同監修)

長崎から届くすての紙芝居コンクール審査結果のお知らせ

この通知、おまじタームで公開された作品は多くあり、そのうち、

[illegible]

長崎平和賞
(一般の部)
瞳の中の子どもたち
田島(たじま)秀彦(ひ
でひこ)(長崎市)

おばあちゃんの人形
佛教大学社会福祉学
部黒岩ゼミ（京都市）
優秀賞
さっちゃん満州
松岡（まつおか）幸代

(さちよ)さん
(京都府舞鶴市)
なお、長崎市からのコメントによりますと長崎市から伝える平和の紙芝居コンクールの審査結果については、平成二十一年八月三日(月)から十月三十日(金)までの期間、全国から作品を募集しましたところ、八十二点(一般の部二十二点、小中学生の部六十点)の応募がありました。専門の審査員による、厳正な審査の結果、上記の通り入賞作品

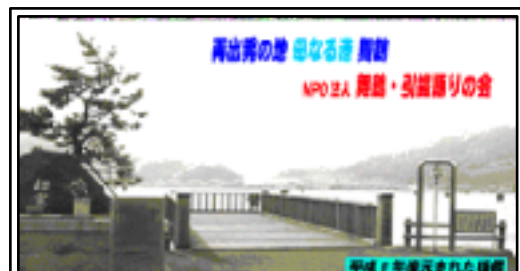
舞鶴・引揚語りの会
のホームページ開設に
むけて

入賞された皆様おめでとうございます。

et.ne.jp」を取得することができました。

十二月からはホームページの構成について本格的に取り組んでいます。現在3/5程度完成しています。

三月末の開設にむけて頑張っています。



念願のホームページ立ち上げに四苦八苦
昨年度からの懸案事項でありました当会のホームページ開設にむけて十月から取り組んでいます。一月には <http://www.eonet.ne.jp/~hikiage> で見本のページを登録することができました。あわせて事務局のメールアドレス hikiage@iris.com

1、2010年度の大口
来館予定団体
静岡より
3000人
長野県の禁煙団体
…

の予定です。
今しばらくお待ちく
ださい。

記：谷口栄一

十二月度理事会での
発表事項

運載
「兵卒の
シベリア捕虜記
著者・門間祐太郎
編集・南澤 武
北緯五十度近くの
土地ですから、日中
は少し労働すれば茹
だるような暑さを感じ
ましたが、川の水
はこれに反して数分
間つかただけで忽ち
唇が紫色になるほど
の冷たさでした。
川の底は丸っこい石
がごろごろしていま
した。この石に体重

(二ノ十ノ十二日)
 関西の電気小売りチェーン(アトム) ..
 5000人
 木更津高校の修学旅行
 300人
 二月十二日
 バス八台にて来館
 2、引揚記念館
 引揚船「白山丸」の模型が展示されるようになっています。これに関係 三十二隻の全てが揃うことになりました。

をかけたところ、足の裏が突き刺されたような痛みが走りまわりました。何故だったかわかりません。川の表面にあらかじめ引き渡されていた綱を身体が流されないように左右どちらかの手でつかまって、下帯一つになり冷たい水につかります。すると待ち構えたようにブヨが揺れる川の表面すれすれにある我が肌にびたりと文字通り隙間なく咬み



ついてきます。防虫剤など無論ありません。白樺の木の皮から採った真つ黒な油をぬりたくっていた

くらしいのです。握っている手を離せば、流されてしまえます。さされたところの痒い事、痒い事。この箇所を時折、泥水に浸かって真つ黒になった爪で引っかきまわしますから、二三日すると臍のあたりから下部にかけて一面に膿が溜まります。かきむしって血の滲み出したようなところはハエが真つ黒に集まり、傷口はいつまでたっても治

りません。手当てをするといっても白樺から採った油を塗るくらいです。それも皆がやるから自分も浸けるだけです。足首あたりに出た傷口は治るどころか、骨が顕れて更に悪くなってしまうた人も居りました。

干草作り

干草作りのときは作業場への往復が大変でした。作業場に行き着くのにまず凍りついてつるつる滑る川の上をド

営するのでしたが、緯度の高いせいかなんまり遅くまで薄明るさが残っていました。長い柄の付いた重いフォークを振り回して、休憩時間もなしにやるのでクタクタになって動けなくなります。そんな状態でまた真つ暗になつてやつと川と岸とが見分けられるぐらいの凍って滑る河の上をとぼとぼ帰るのです。前を行く人影を見失ったが最後、見当が付かなくなつて氷原に置き去りとなり凍死した人も何人かいました。



プを振って必死に雪

この板の上に、電線に止まって行列しているツバメか雀のようにならに行列して臀部を丸出しに排便する光景を想像してみてください。極寒の天地です。凍結した糞が積み重なって鍾乳洞に出来た石筍のように円錐形に迫り上がって来て遂には尻を突くようになります。この掃除の使役に従う捕虜達は、重くて丸く長い鉄棒で糞の山を突き崩して手押し車に乗せ、場外に運び出して捨てます。この当番兵が営舎に戻って寝た頃、着衣に粉末化した凍結し付着した糞の微粉粒が溶け出して異様な臭気が営舎内一杯に立ち込める事がありました。

(続く)

芸は身を助ける

これもガイドのコマ。抑留者の多くは悲惨な体験の持ち主であるが、これは比較的フッキー(?)な方のお話。年を召した男性の二人、平地区の立体模型のあたりで一通りの説明をして『抑留者ですか』と問うてみた。そうだと答えるので、さらに突っ込んでみた。こちらは悲惨な状況を予期していたのだが、意外な答えであった。この人元衛生兵で、満州から一旦北に送られたが途中から引き返し、八路军(中国

人民解放軍の前身、朱徳將軍が指揮)に移管されたという。その後八路军と共に行動し、中国建国に功労があったとして勲章を授与されたという。したがって抑留中は悲惨な目にあって居らず待遇も非常に良かったらしい。29年に帰国をした。帰国に際しては、貯めたお金を香港ドルで持ち帰り、上陸に際して、そっくり日本円に交換してもらったそうである。後年授与された勲章を付けて中国を再訪し、昔の仲間と旧交を温めたという。芸は身を助けると云うが、ま

さにこの人は衛生兵という特殊技能保持者として悲惨な抑留体験をしなかった希な人であろう。シベリア抑留ばかりに目がいくけれども、国共内戦(毛沢東の共産軍と蒋介石の国民党軍の戦い)に巻き込まれた多くの日本人将兵が敵味方に分かれて戦い、多くの犠牲者を出した事実を存じでしうか。この人達も長期の抑留に対する補償はされておられません。上記のお人もその1人です。詳しいことを知りたい方は小説「蟻の兵隊」池谷薫著を読みたい。森下

12月の活動実績

稼動日数 28日
ガイド数 1,482人
予約数 4件
予約人数 109人
稼動会員数 17人
募金箱・・・円
ご苦労様でした。

困んで談笑しているとき、非力な私はまだ三分の一も除雪区域が残っていて、重

便所 収容所の便所は、野天に長い深い溝を掘って、その溝に添って中ほどに厚い板が二枚渡してありました。

2月より大口の来館予定があります。2月10日より12日の3日間、特に修学旅行生に対しては是非〃〃に応援してください。